

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
<b>議 会</b>		
教育政策決定における地方議会の役割 市町村の教員任用を中心として	阿内春夫	早稲田大学出版部
<b>ま ち づ く り</b>		
まちづくり戦略3.0 カネなし、人脈なし、知名度なしでも成功する「弱者の戦い方」	小林大輔	かんき出版
<b>そ の 他</b>		
公共図書館を育てる	永田治樹	青弓社
イノベーションの未来予想図 専門家40名が提案する20年後の社会	水野勝之(編著) 土居拓務(編著)	創成社
未婚化する日本 ペアーズ共同調査と統計データが示すその傾向と対策	天野馨南子(監) 白秋社編集チーム(編著)	白秋社
脱炭素経営入門 気候変動時代の競争力	松尾雄介	日経BP日本経済新聞出版本部
日本経済衰退の構図	石見徹	東京大学出版会



「寅」「虎」～とら～

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今年には十二支の三番目にあたる干支「寅年」です。「寅」という漢字は、両手で矢をまっすぐに伸ばしている様子を表し、まっすぐに伸びるという意味があるとされています。そんな意味を持つ寅年には、過去にどのような出来事があったのでしょうか。

平成10年 和歌山ラーメンが全国に知られるようになる、和歌山ビッグ愛がオープンなど

平成22年 和歌山北インターチェンジが開通、JR和歌山駅ビルに和歌山MIOオープン、和歌の浦が国の名勝に指定など

振り返ると、いろんなことがあったんですね。今年はどうなるのでしょうか。漢字の意味どおり、まっすぐにどんどん伸びる成長の年になると良いですね。

また、「とら」という漢字にはもう一つ動物の「虎」があります。動物の虎は猛兽であり、威厳があるというイメージがありますが、その反面虎の子『虎は子を非常に可愛がることから、大切にしまっておいて、手元から離さないもの』、虎は千里を行って千里を帰る『子のためには一日に千里行って、また千里を子のところに戻ってくる』という、ことわざがあるほど虎は子煩悩な一面もあるようです。

虎といえば、和歌山城は伏した虎に似た山(虎伏山)に築城したことにより、別名「虎伏竹垣城」とも呼ばれていました。また城内には、当時、普請奉行であった藤堂高虎が手掛けた「高虎流」と呼ばれる石垣がたくさん残っています。このほか、二の丸庭園近くには、伏した虎の姿をした伏虎像があるなど、虎にゆかりがあります。

さて、日本最大級のインターネットミュージアムでは、今年も「ミュージアム干支コレクションアワード」が開催されています。これは、寅年にちなみ「虎」にまつわる館蔵品をインターネットで紹介し、ネット投票によって順位を決めるというものです。もちろん和歌山城の「伏虎像」もエントリーされていますので、応援よろしくお祈りします。

